

《スプレーガンメンテナンスの仕方》

1. メンテナンス時の作業手順及び注意事項

残った塗料を他の容器に移した後、塗料通路及び空気キャップセットの洗浄を行う。塗料通路の洗浄は少量のシンナーを吹き付けて行う。

(注意)

洗浄不良はパタン形状や粒子の不具合の原因となる。
特に二液塗料を御使用後は素早く入念に洗浄する。

各部の洗浄はシンナーで浸したブラシで行いウエス等でふき取る。

(注意)

スプレーガン全体をシンナー等の液中に浸さない。
長時間浸漬した場合、構成部品の損傷の原因となる。
なお、洗浄時には空気キャップセット、塗料ノズルの各噴出穴及びニードル弁セットは絶対にキズを付けないようにする。

分解する前には塗料通路内部を十分洗浄する。

塗料ノズル分解時工具はメガネレンチ、ボックスレンチ又は別売りの専用スパナ(コードNo.03538600)を使用する。

(注意)

塗料ノズルを外す時は、シート部保護のため引金を引き、ニードル弁セットを引いた状態で行う。

ニードル弁パッキンセットを調節する時は、ニードル弁セットを挿入したままで一旦締め込む。手締めで止まった所からスパナにて再度締め込む。

(注意)

ニードル弁パッキンセットは締め過ぎるとニードル弁セットの動きが悪くなり塗料先端漏れの原因となる。
締め増し、締め戻し可能なパッキンであるため、引金を引き、ニードル弁セットの動きを確認しながら調節をする。

パタン調節装置及び空気量調節装置の組立はおのこの調節装置を全開にしてから本体セットにねじ込む。

(注意)

全開でないと、パタン調節装置及び空気量調節装置の先端が本体セット先にぶつかり、損傷の原因となる。

《スプレーガンメンテナンスの仕方》

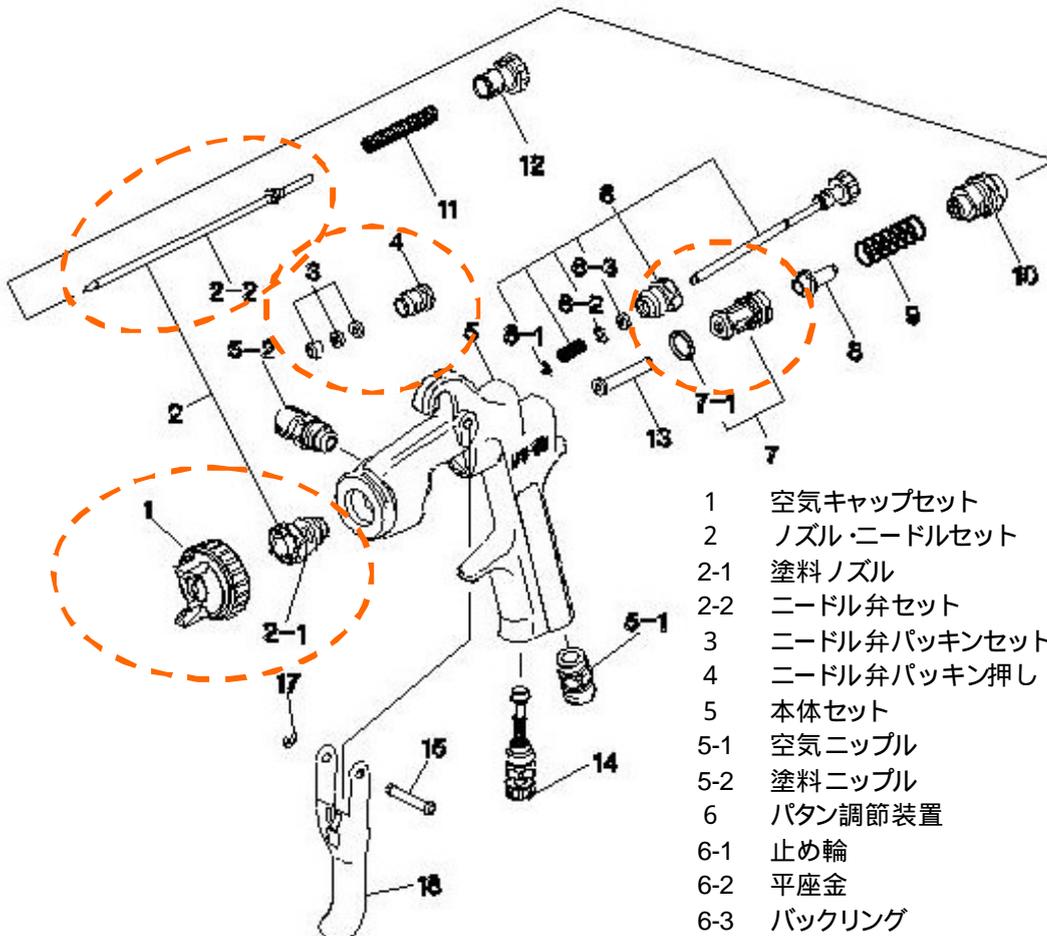
2.点検箇所及び部品交換基準

スプレーガンは下記内容の部品が不良を起こした際、交換が必要となる。
吹き付け時にパターン不良、塗料洩れ、エア洩れ等が発生した場合は日々の洗浄
とは別に、部品交換を行う

空気キャップセットおよび塗料ノズルの各穴の通路
(交換基準) 交換部品 No.1空気キャップセット、No.2-1塗料ノズル
つぶれ、変形がある場合は交換

パッキン、Oリング類
(交換基準) 交換部品 No.3ニードル弁パッキンセット、No.7空気弁シートセット
変形、摩耗の場合交換

塗料ノズル、ニードル弁セット間のシート漏れ
(交換基準) 交換部品 No.2ノズル・ニードル弁セット
塗料ノズル、ニードル弁セットの洗浄を十分行っても、漏れがある場合交換。
塗料ノズル単品、ニードル弁セット単品で交換する場合は摺り合わせを実施し漏れが
ないことを確認してください。



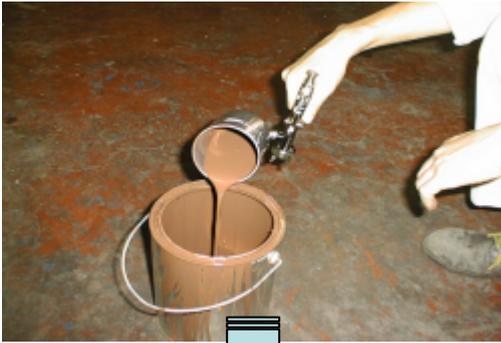
- | | | | |
|-----|--------------|-----|-----------|
| 1 | 空気キャップセット | 7 | 空気弁シートセット |
| 2 | ノズル・ニードルセット | 7-1 | Oリング |
| 2-1 | 塗料ノズル | 8 | 空気弁 |
| 2-2 | ニードル弁セット | 9 | 空気弁ばね |
| 3 | ニードル弁パッキンセット | 10 | 塗調ガイドセット |
| 4 | ニードル弁パッキン押し | 11 | ニードル弁ばね |
| 5 | 本体セット | 12 | 塗料調節ツマミ |
| 5-1 | 空気ニップル | 13 | 空気弁棒 |
| 5-2 | 塗料ニップル | 14 | 空気量調節装置 |
| 6 | パタン調節装置 | 15 | 引金止め軸 |
| 6-1 | 止め輪 | 16 | 引金 |
| 6-2 | 平座金 | 17 | E形止め輪 |
| 6-3 | バックリング | | |

《スプレーガンメンテナンスの仕方》

3. 洗浄の仕方

3-1 作業終了後の洗浄

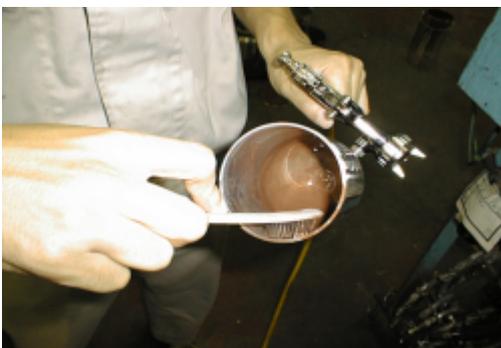
残った塗料を容器に移す。



シンナーをカップに入る。



専用ブラシでカップ内を洗浄する。



ブースの前でカップ内のシンナーを捨て吹きする。
この作業を約3回ほど繰り返し
塗料通路を洗浄する。



ガンの外面・カップの外面は
シンナーを付けたウエスでふき取る。



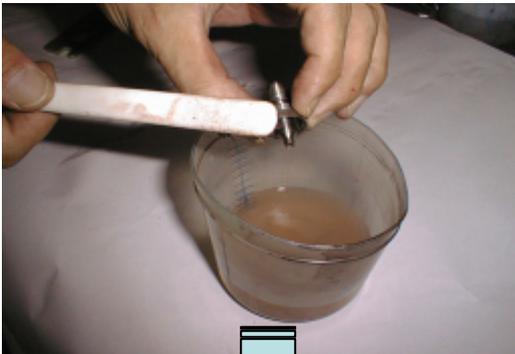
《プレーガンメンテナンスの仕方》

空気キャップを外し
専用ブラシで洗浄する。



17mmのメガネレンチにて塗料ノズル
を外し、専用ブラシにて洗浄する。

注意
ノズル先端部は念入りにキズが
つかないように洗浄すること。

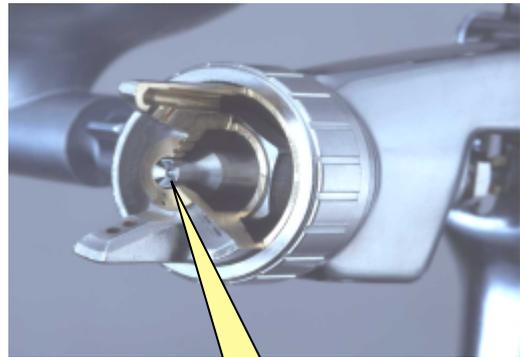


ニ - ドル弁も塗料付着が
あれば洗浄する。



ノズル先端部を塗料付着がないか、
もう一度確認する。

注意
ノズル先端部に塗料付着があるとパターン
形状等に不具合があるので注意する。



ノズル
先端部



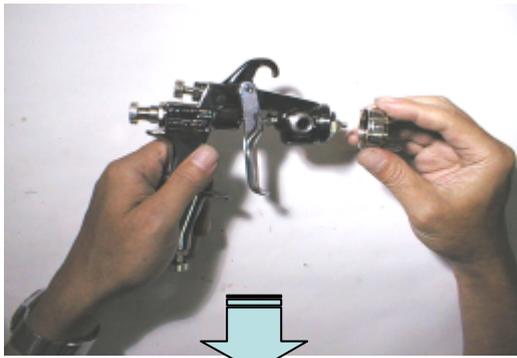
1. 注意事項
作業終了後、空気キャップを装着
した状態で保管すること。
カップにシンナーを入れた状態で
保管しないこと。
2. 使用工具
メガネレンチM17、専用ブラシ

《プレーガンメンテナンスの仕方》

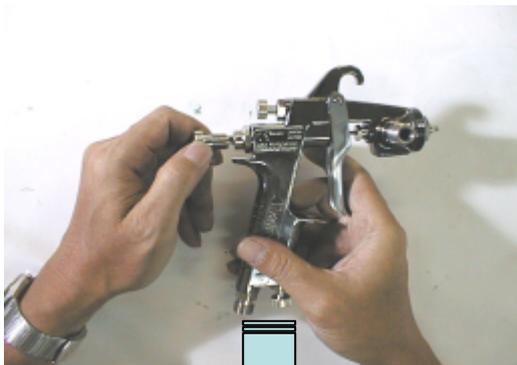
4. 部品交換の仕方

4-1 : ノズル・ニードルセットの交換

空気キャップを手で外す。



塗料調節ツマミを手で外す。
塗料調節ツマミを外すと
ニードル弁バネも付いてくる。

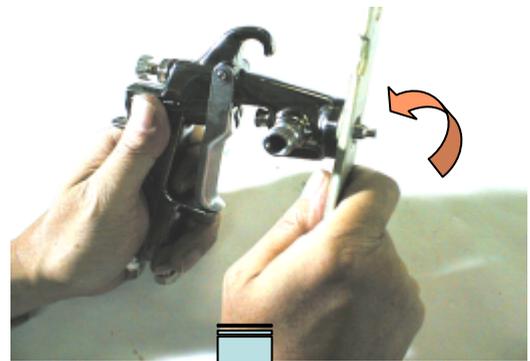


ニードル弁バネとニードル弁を手で後方に引き抜く
(この時引金を引くと、ニードル弁の後端が出てきて、抜きやすくなる。)



塗料ノズルを17mmの
メガネレンチにて外す。

注意
専用スパナ等で塗料ノズルを
傷付けないよう注意すること。



塗料ノズルをスパナで弛めた後
は手で塗料ノズルを外す。



《プレーガンメンテナンスの仕方》

新しいニードル弁を後方より手で挿入する。



ニードル弁挿入後、ニードル弁バネと塗料調節ツマミを手で後方から締め付ける。



引き金を引きながら塗料ノズルを手で締め込む。
手締め後、引き金を引きながら専用スパナにて締め付ける。

注意

塗料ノズルの締め付けが弱いと息切れ現象を起こす。



空気キャップを前方より手で締め込む。

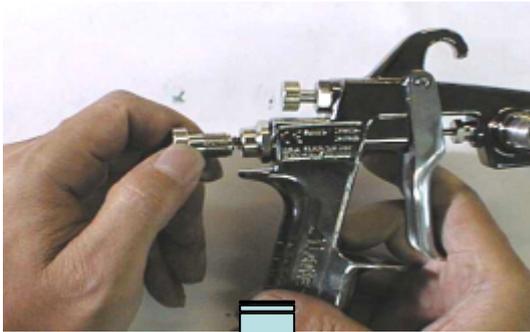


1. 注意事項：
塗料ノズル・ニードル弁を傷付けないこと。
2. 必要工具：
メガネレンチM17

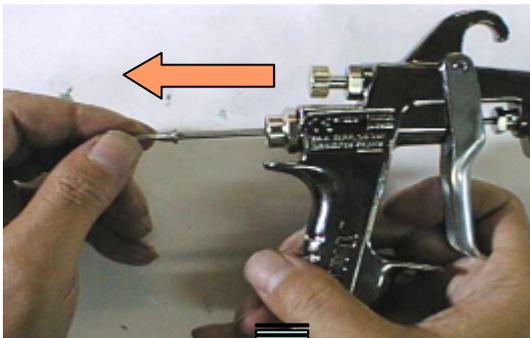
《ブレーガンメンテナンスの仕方》

4-2 空気弁シートセット交換

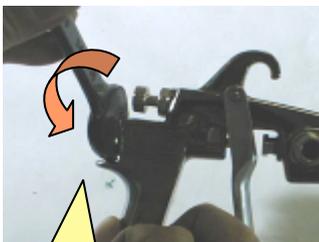
軽く引き金を引き、塗料調節塗料調節
ツマミ ニードル弁を手で外す。



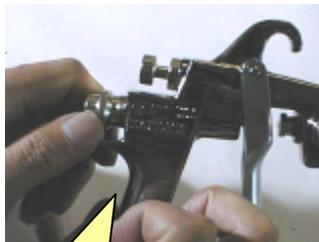
ニードル弁を手で後方に引き抜く



塗調ガイドセットを19mmの
スパナにて弛める。
スパナにて弛めたら手で塗調
ガイドセットを外す。



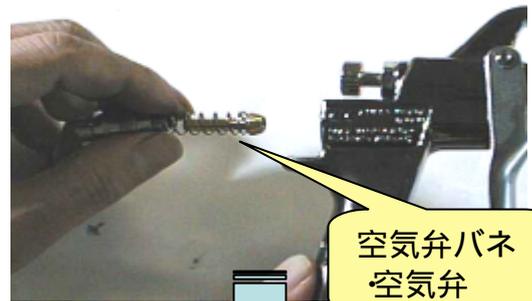
スパナにて
弛める。



手で外す



空気弁バネ 空気弁を後方に
手で引き抜く



空気弁バネ
空気弁



六角棒レンチ (平径 10mm) を
本体後部より挿入し空気弁シートセットを
六角棒レンチにて弛める。
六角棒レンチである程度弛んだら、
最後は手で外す。

注意

この時、空気弁棒も同時に外れる。



六角棒レンチ
(平径 10mm)



空気弁シートセッ
ト空気弁棒

《プレーガンメンテナンスの仕方》

新しい空気弁シートセットに空気弁棒を挿入する。
空気弁棒が組み込まれた空気弁シートセットを
後方より手で挿入しねじ込む。



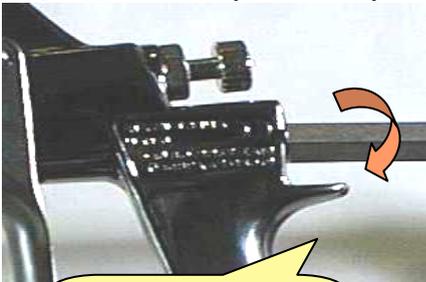
でセットした
空気弁シートセット

手で締め
込んで行く

六角棒レンチ (平径 10mm)
で締め込んでいく

重要

締め込み具合軽く締め込み、
ぶつかってから約30度締め込む。
参考 規定トルク (98N・cm)

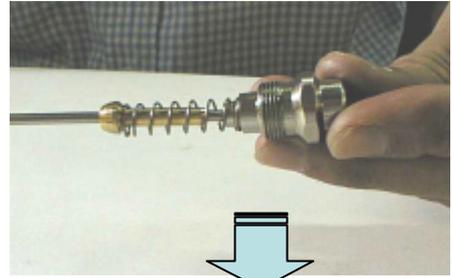


六角棒レンチ (平
径 10mm)

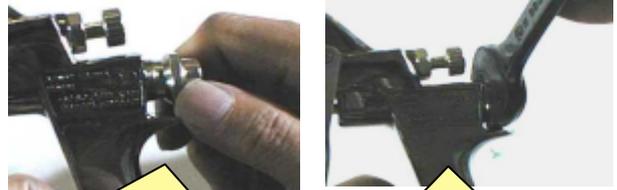
空気弁 空気弁バネ・ニードル弁・
塗調ガイドセットを写真のように
セットし本体後方より挿入する。

注意

写真のようにセットせずに組付けると
塗調ガイドセット内のパッキンを傷付け、
エア-を起こす可能性がある。



平径 19mm のスパナにて完全に締め込む。
8でセットしたものを本体後方より挿入したら
塗調ガイドセットを手で締め込んでいく



塗調ガイドセットを手で
締め付けていく

スパナ (平径 19mm)
で締め付ける。

塗料調整つまみとニードル弁バネを
後方より手でネジ込んで作業は終了。

注意

引金を軽く引き行うこと。(ニードル先端を傷付けない為)



1. 注意事項：

空気弁シートセットの締め過ぎに注意。
(締め過ぎると空気弁シートセットが変形し
エア-洩れを起こすので注意のこと。)

2. 使用工具：

六角棒レンチ (平径 10mm)
スパナM19

《スプレーガンメンテナンスの仕方》

5. トラブルシューティング

5-1 :スプレーガンより塗料が出ない

塗料調節ツマミの開度不足はありませんか？
開度が不足していると、塗料がでない。
反時計方向に回すこと。



塗料調節ツマミ
の開度を確認。



ノズルに塗料ツマリやゴミの固着があると、
塗料が出ない。シンナーと専用ブラシ
にて十分洗浄すること。



塗料固着・ゴミ
の付着を確認。



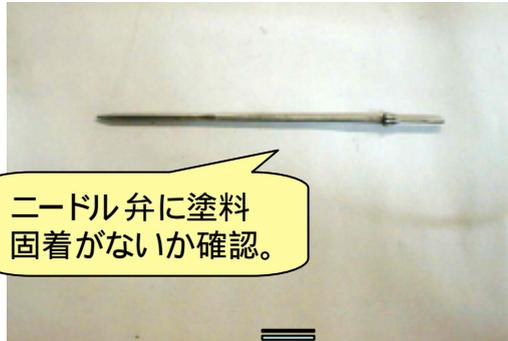
ニードル弁 PKセットに塗料固着がありませんか？
ニードル弁 PKセットに塗料固着があると
ニードル弁の動きが悪くなり先端より塗料が洩れる。



ニードル弁の摺動
部に塗料固着がな
いか確認。



ニードル弁に塗料固着がありませんか？
ニードル弁に塗料固着があると
ニードル弁の動きが悪くなり先端より
塗料が洩れる。固着がある場合は
シンナーと専用ブラシにて十分洗浄
すること。



ニードル弁に塗料
固着がないか確認。



ニードル弁 PK押しの締めすぎはありませんか？
ニードル弁 PK押しは締め過ぎるとニードル弁の
動きが悪くなる。締め付けは手締め後、
30度専用スパナで締め付け完了。



ニードル弁 PK押し
の締め過ぎがないか確認。

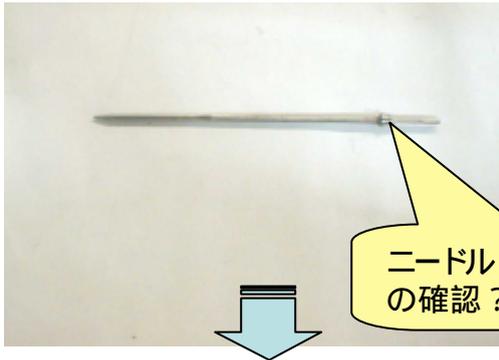


- 1. 注意事項
特になし
- 2. 使用工具
スパナM10

《ブレーガンメンテナンスの仕方》

5-2 ニードル弁パッキン部より塗料洩れ

ニードル弁セットに摩耗があると
ニードル弁パッキンセットが塗料をシートできず、
塗料洩れを起こす。摩耗がある場合は部品交換となる。

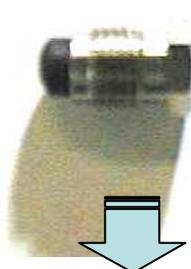


ニードル弁セットの摩耗の確認？



1. ? ? ? ?
特になし
2. ? ? ? ?
特になし

ニードル弁パッキンセットに摩耗はありませんか？
ニードル弁パッキンセットに摩耗がある場合は、
塗料をシートできず塗料洩れを起こす。
摩耗があれば部品交換となる。



ニードル弁パッキンセットに摩耗の確認？

ニードル弁パッキンセットの締め付け不足はありませんか？
ニードル弁パッキンセットの締め付け不足があると塗料を
シートできず塗料洩れを起こす。締め付けは手締め後、
専用スパナにて30度締め込むこと。



ニードル弁パッキンセットの締め付け不足の確認？